

登場人物

てっちゃん (大西 鉄也)

地域のサッカークラブに通う6年生。

明るく温厚。協調性があり、
どちらかといえば慎重派。

2つ上の兄がいる。

パンツはブリーフ。

性知識には乏しく、
あそこについてもまだ全然である。

まわりの人たちから狙われ、
いやらしい目に遭わされるのは
てっちゃんが可愛すぎるからか…。

※演出の都合により、てっちゃんの
精通事情はリセットされたりします。
前の作品では…と細けえこたあ気に
するな、です。



登場人物

ゆう

雄くん

(森田 雄一郎)

てっちゃんのチームメイトで
同じ6年生。
(学校は別で隣町に住んでいる)

元気で活発、社交的。
自分のペースで行動する。

小柄なことを気にしている。

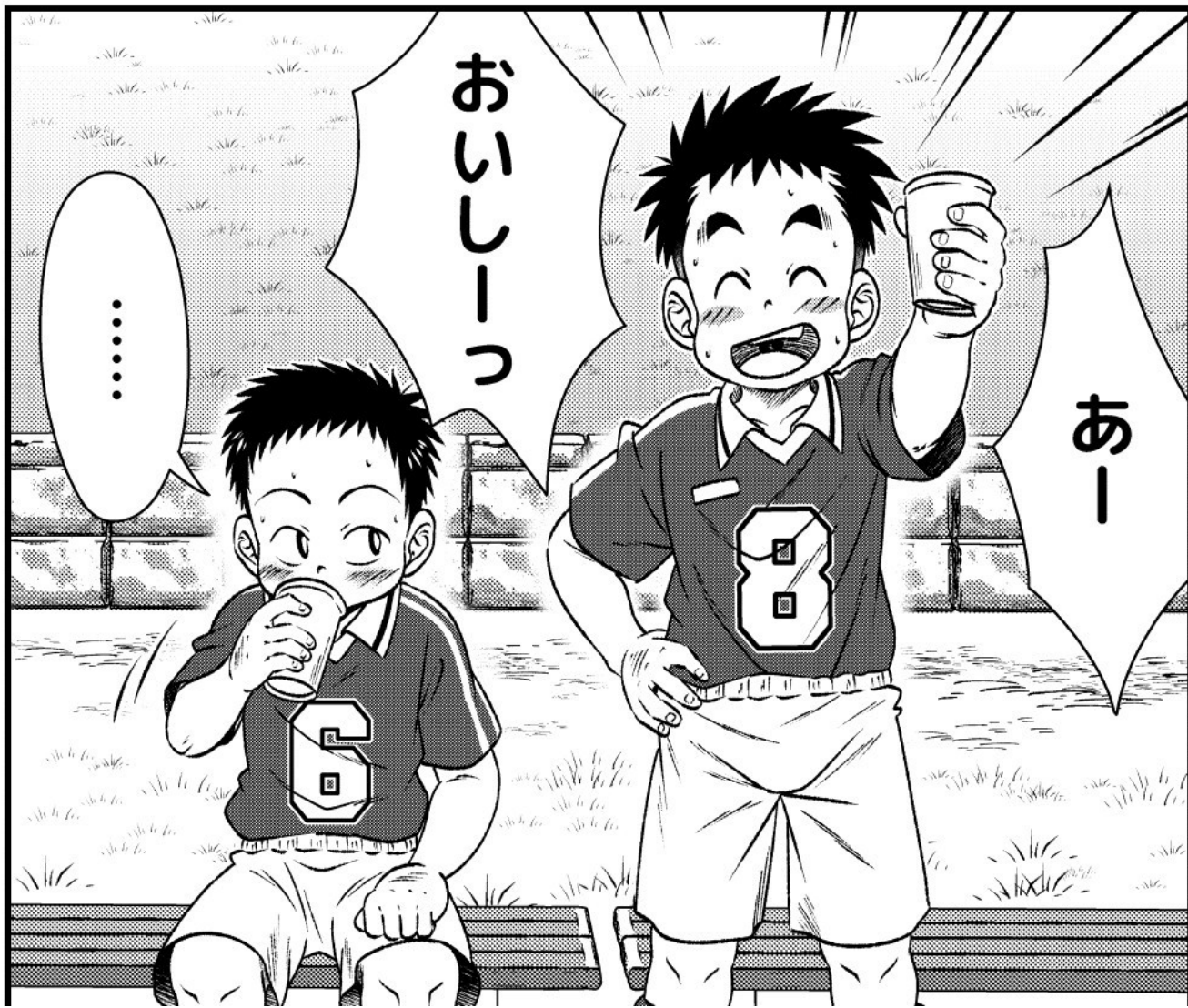
パンツは基本トランクス。

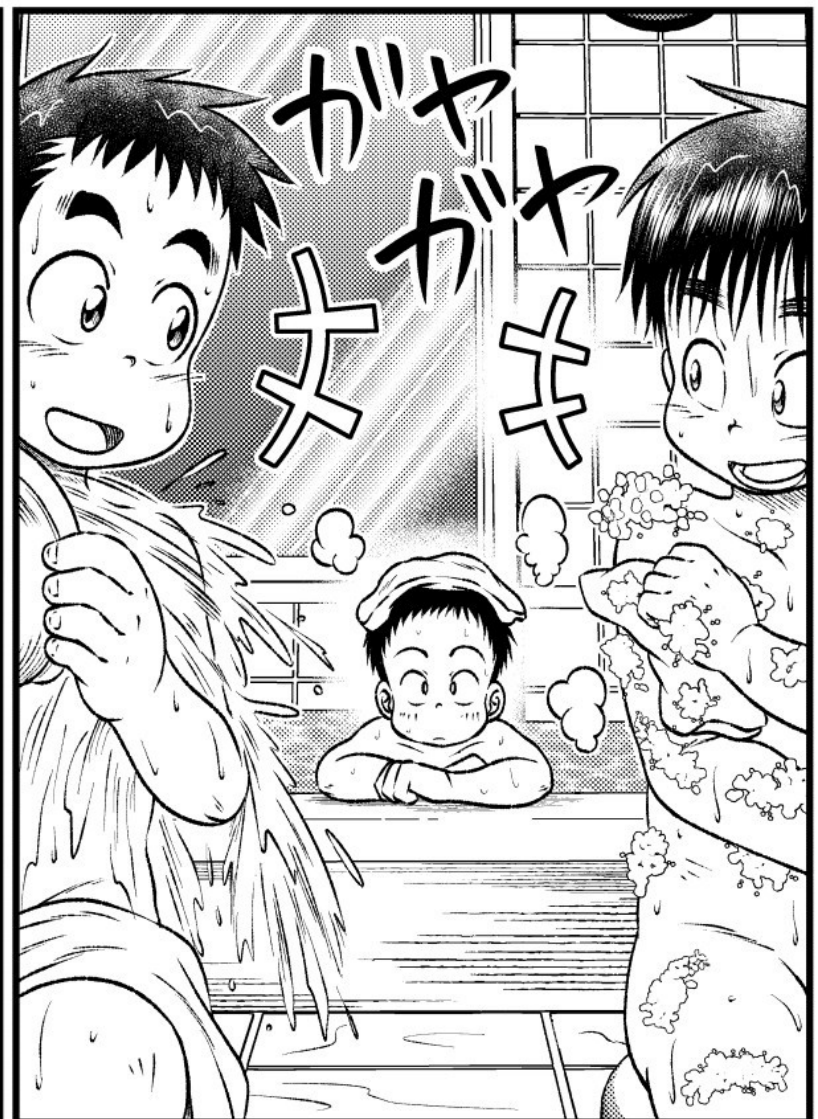
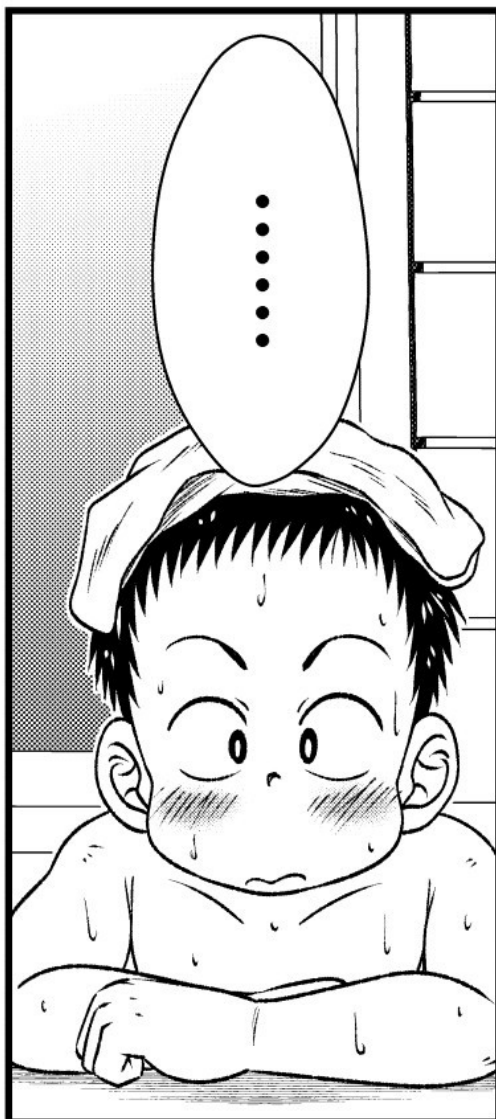
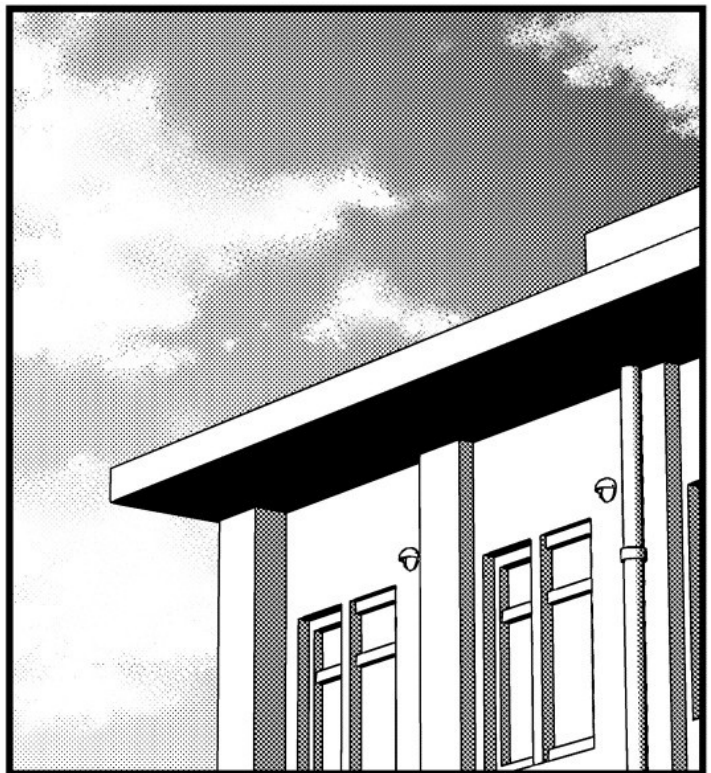
てっちゃんとは仲が良く、
お互いに週数回の練習で
会えるのをとても楽しみに
している。

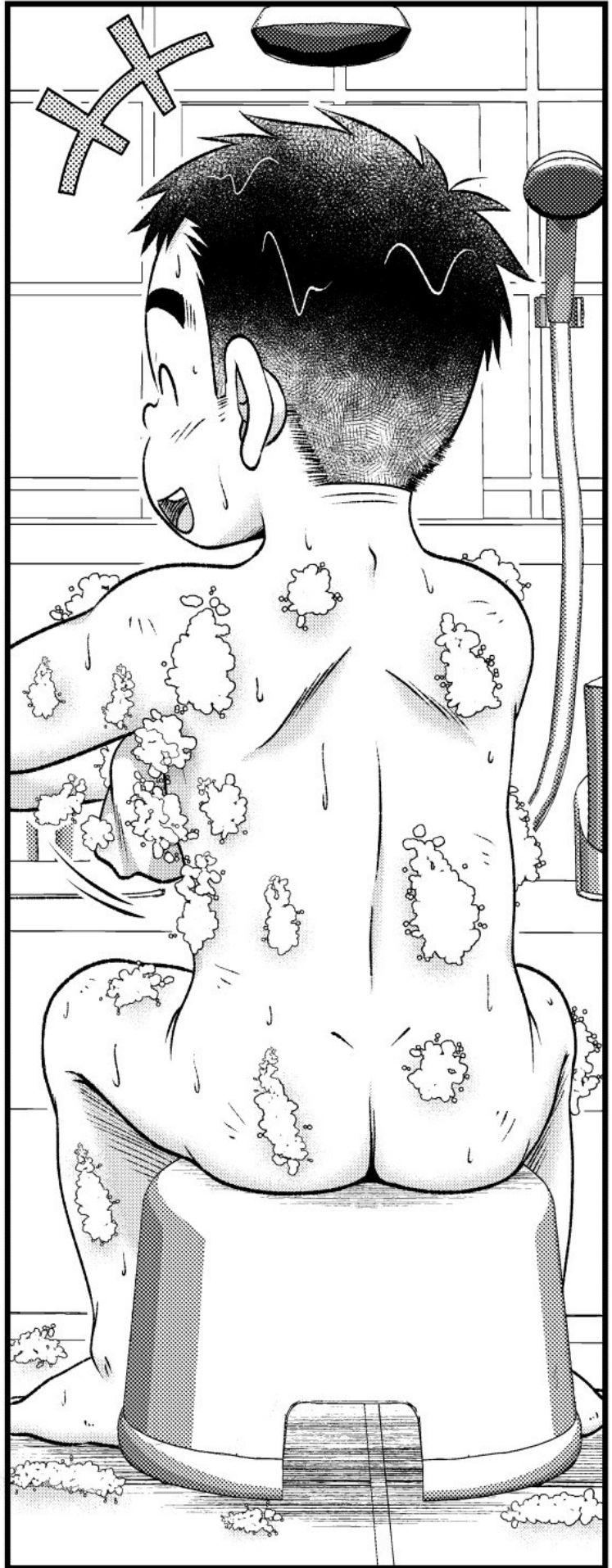
最近はお年頃かいろいろ
何かを考えているようだ。
当然えっちなことにも興味があり、
家族に隠れて、お家のPCで
日々えっちな知識を蓄えている。

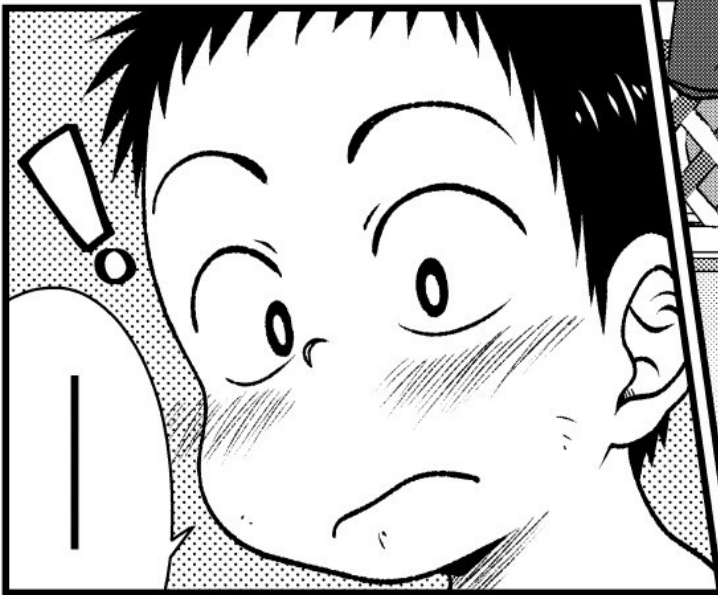
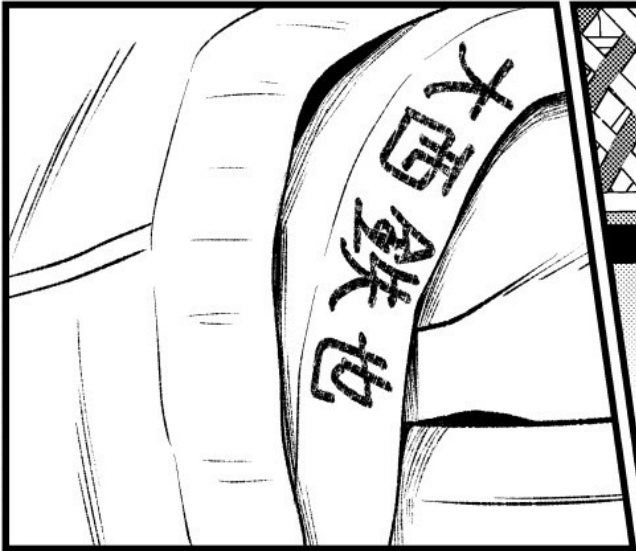


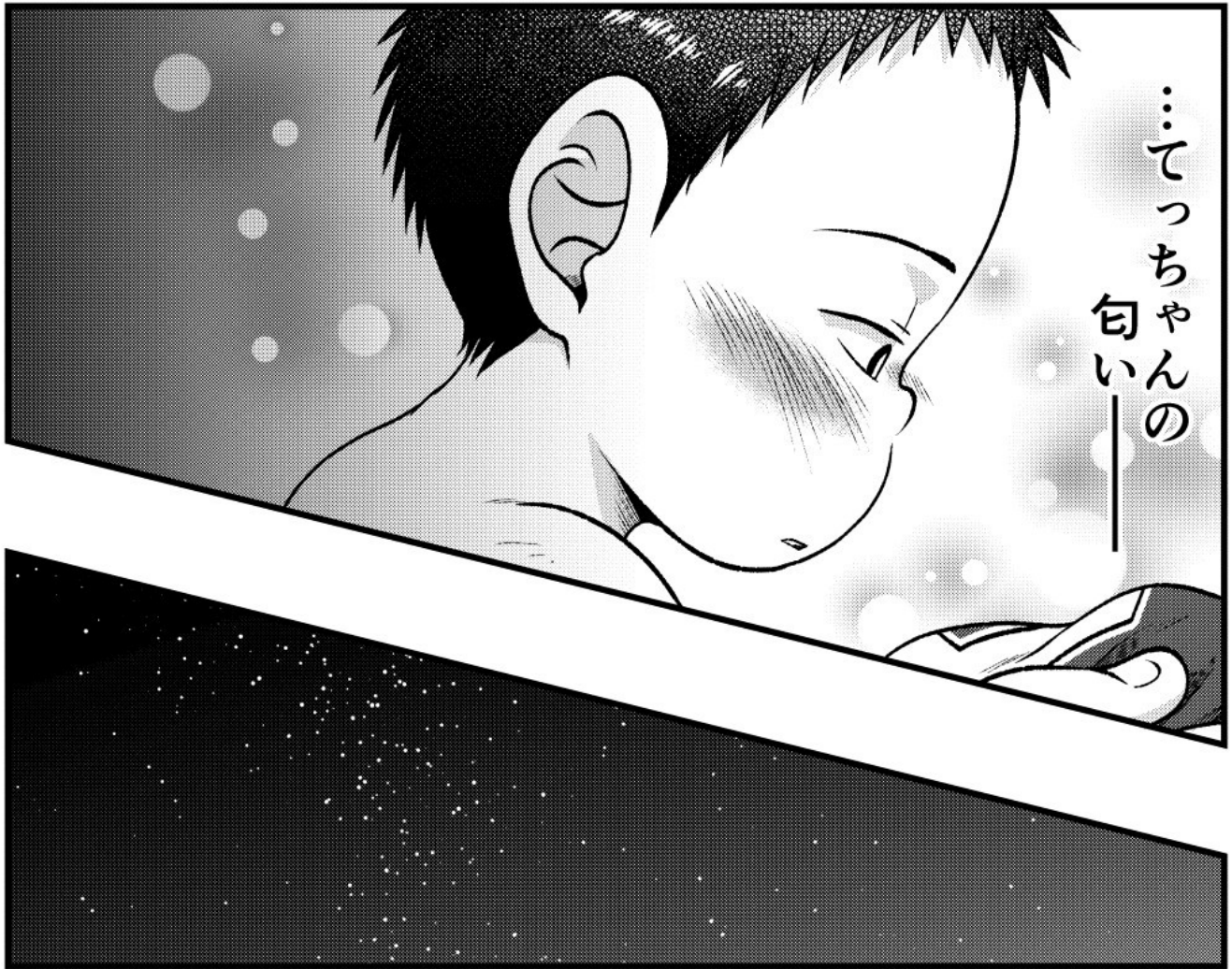


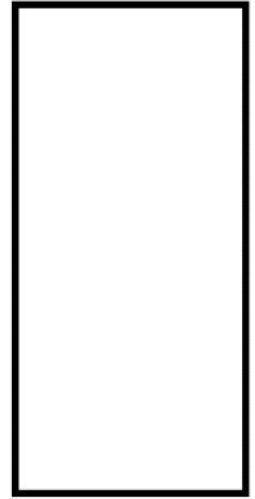
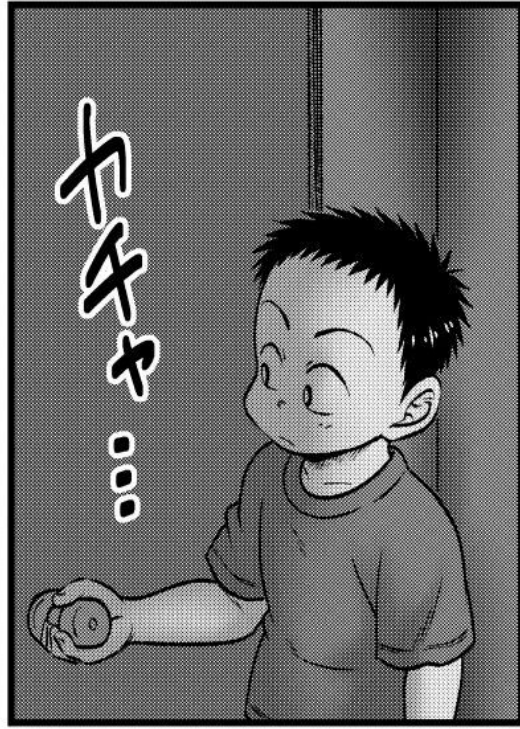
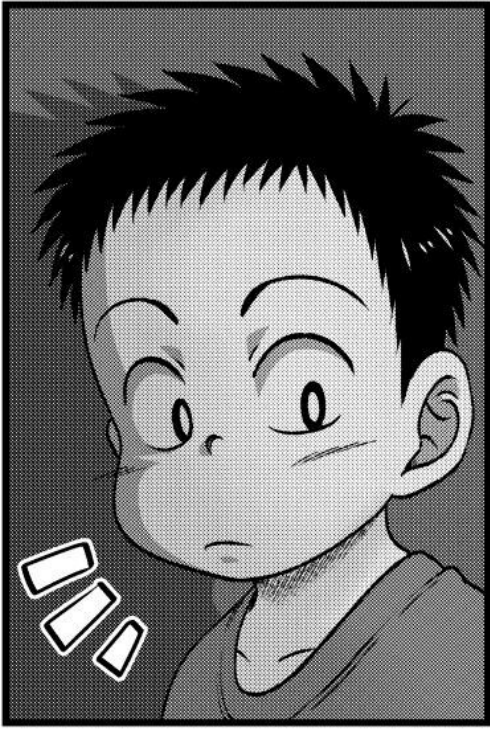




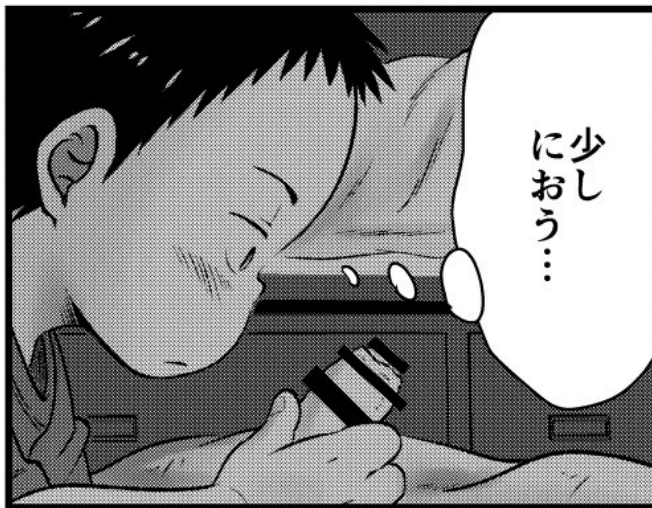


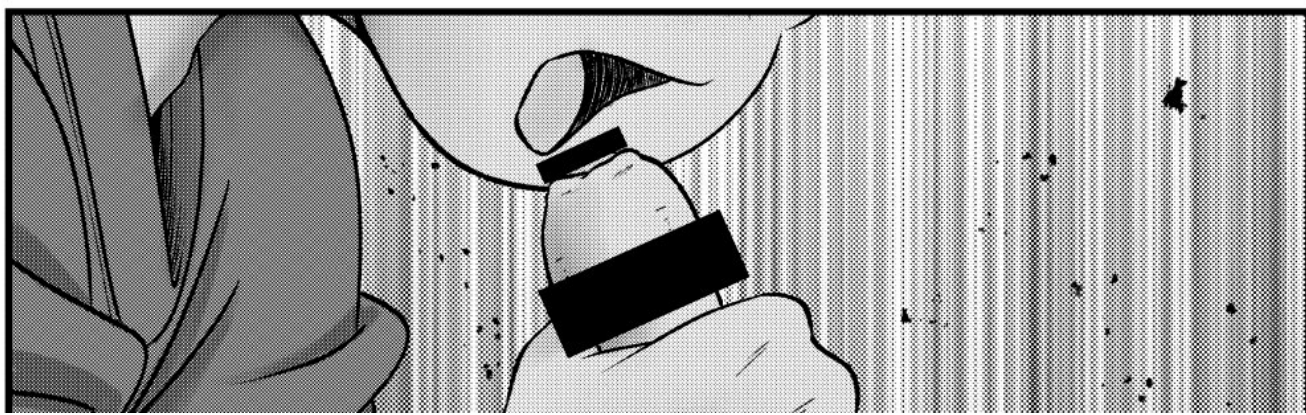


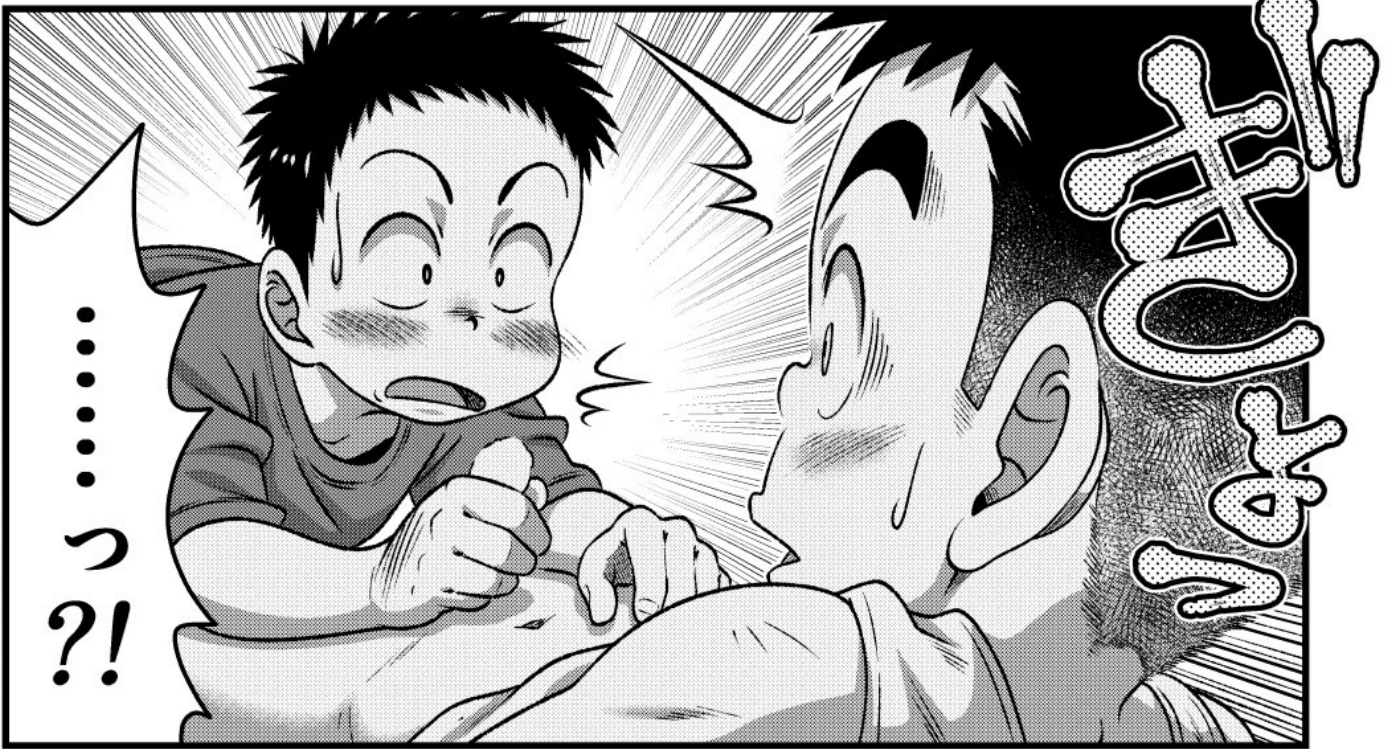
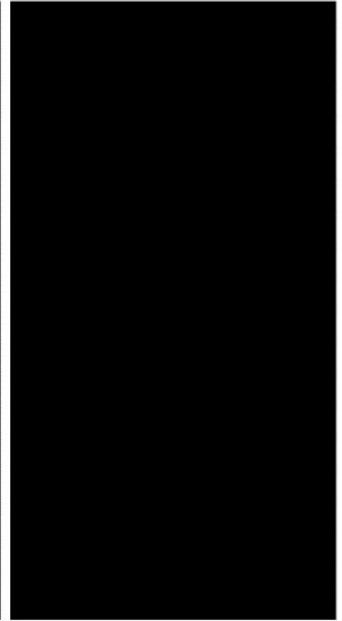














：雄くん
な何し…



しーっ！
みんなが
起きちゃうだろ？！



んっ



んん…

ん



クク
クク





はあ…

おしっこ…じゃ
なかつた…？

はあ…



てっちゃん
気持ち
よかった？

…ねえ
てっちゃん…

う…うん…

おれも…

気持ちよく
なりたい…



こう...

いや...

ヒッ
フ。



...えと

な舐めれば...
いいの...?

カアアア



てっちゃんだから
汚くないよ

あっえっ
何？お尻...？
き汚いよ...っ

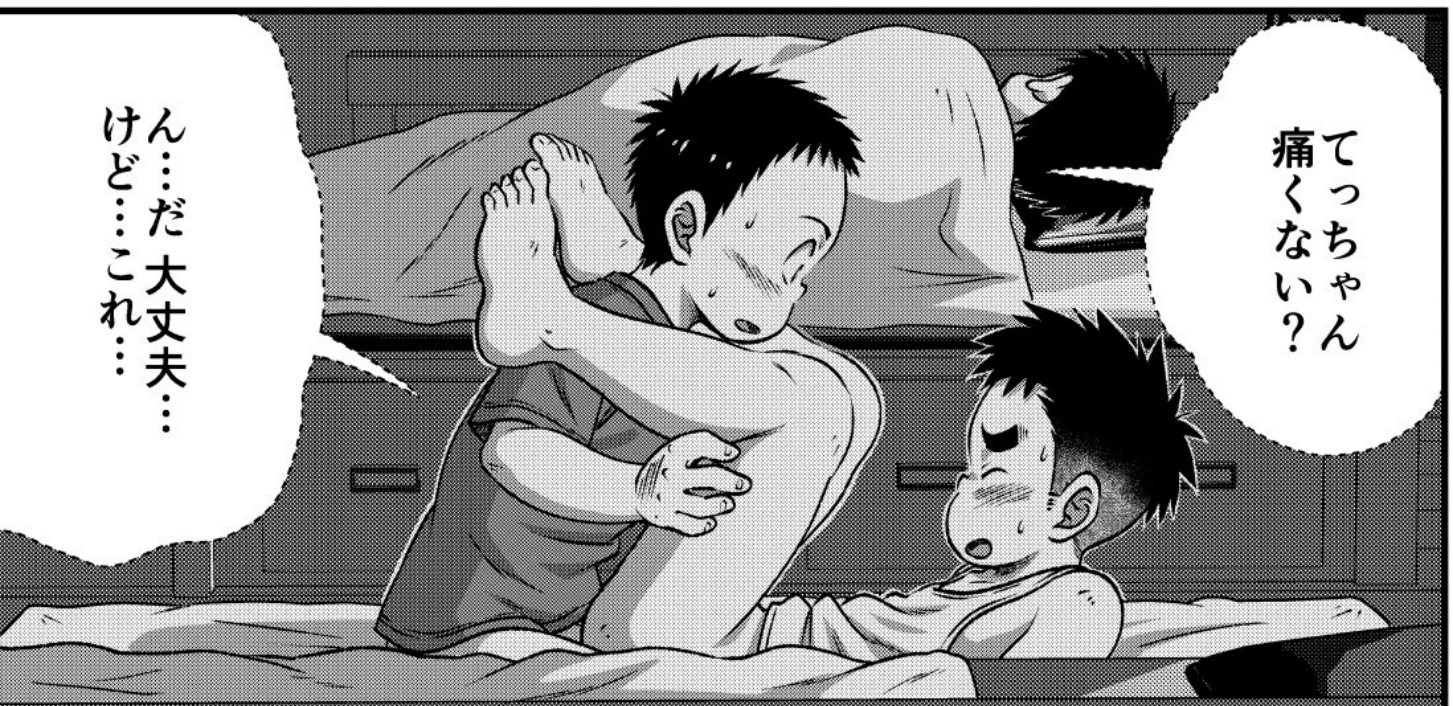


は…入った…



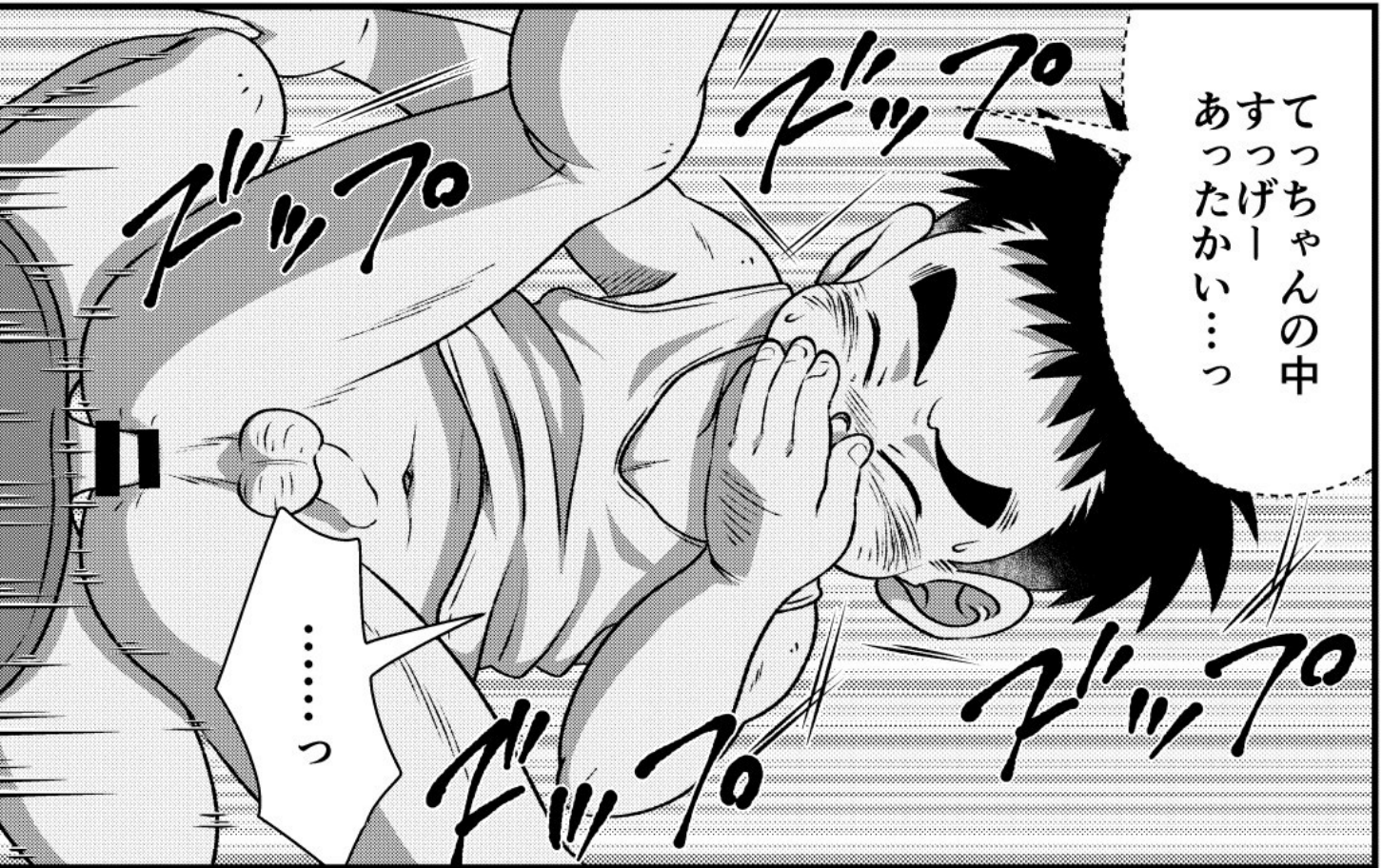
あ…

あ…



ん…大丈夫…
けど…これ…

てっちゃん
痛くない？



てっちゃんの中
すっげー
あったかい……

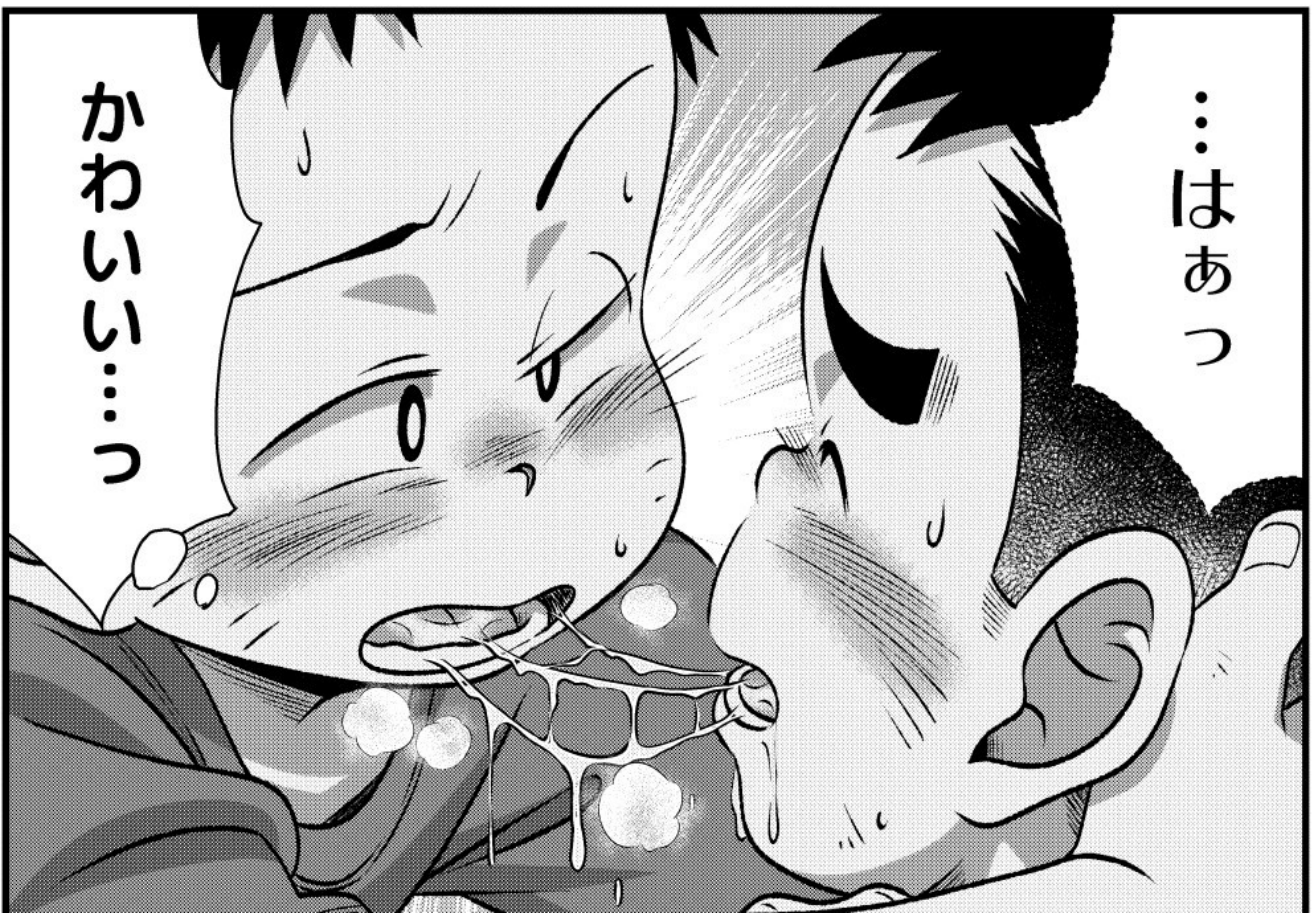


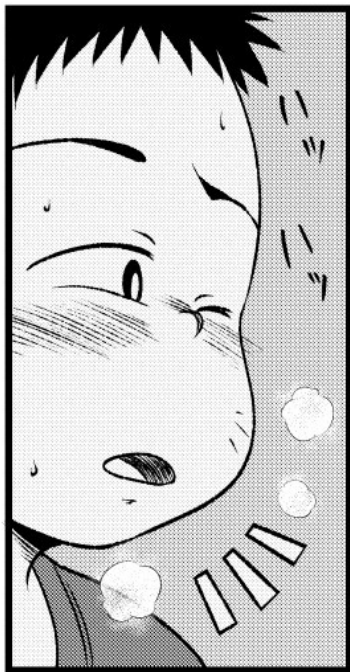
んむ……



おれ
てっちゃん
やってみ
んだ……

雄く……





…てっちゃんのも
また大きく
なってる…



んふっ

んんっ

んあっ

すっげー
えっちなだ

てっちゃん
かわいい…っ

ちゅ ちゅ

んん
んっ
ゝ!!
っ
!!

ドクドク

ひゅ
るる

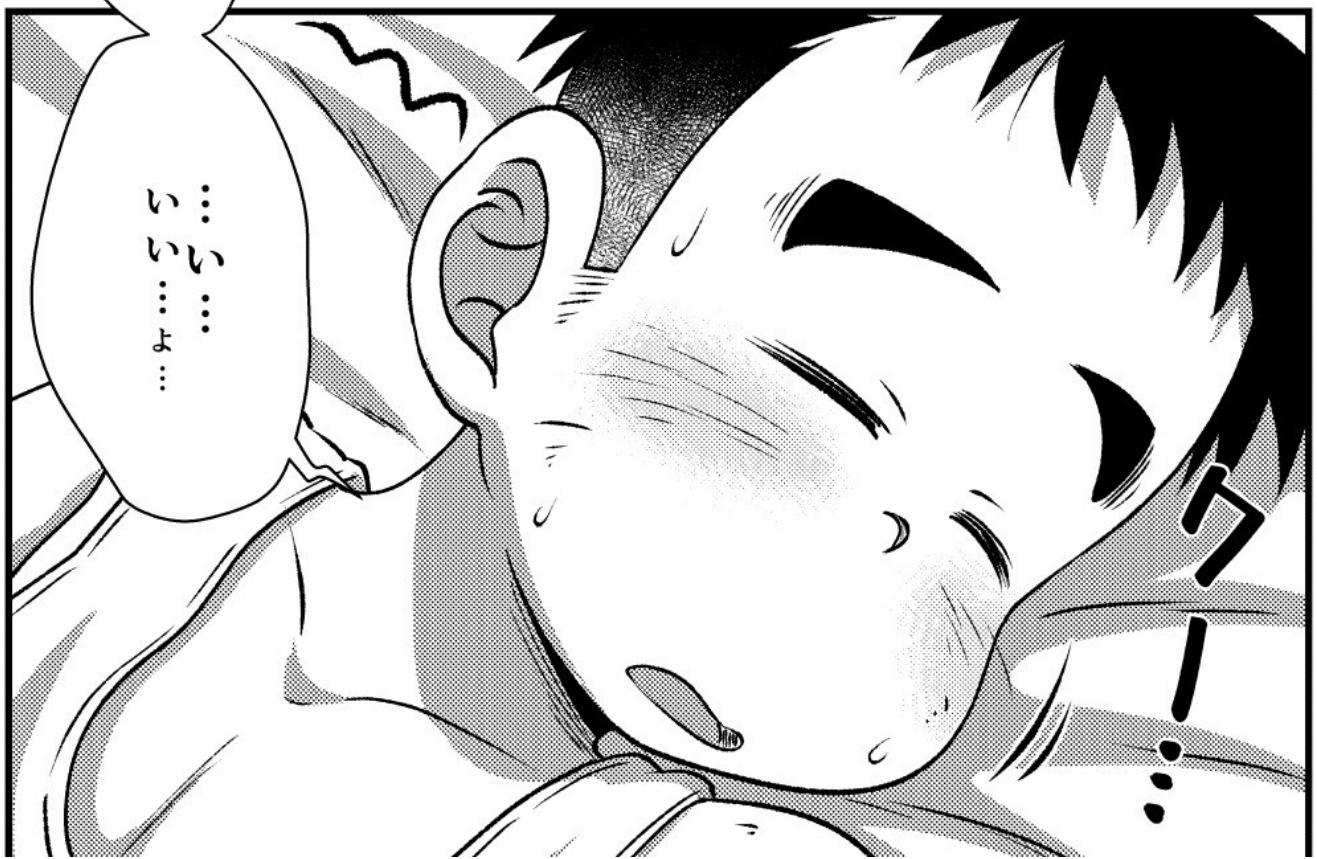
ひゅ
ひゅ
ひゅ

ドク

ドクドク

んあっ
あ!!



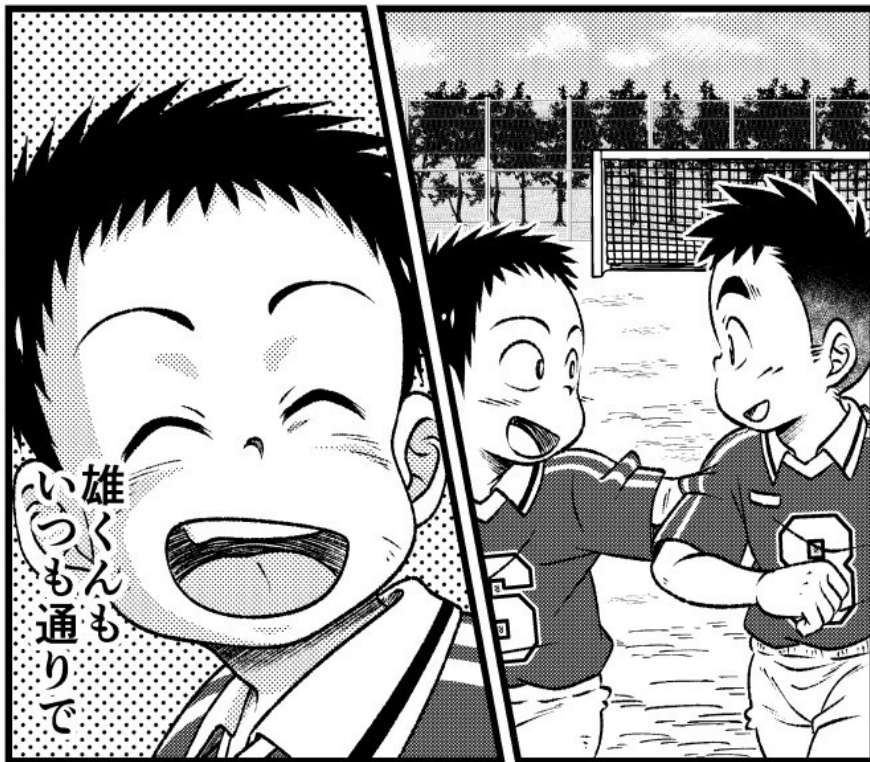




…ごめん——っ

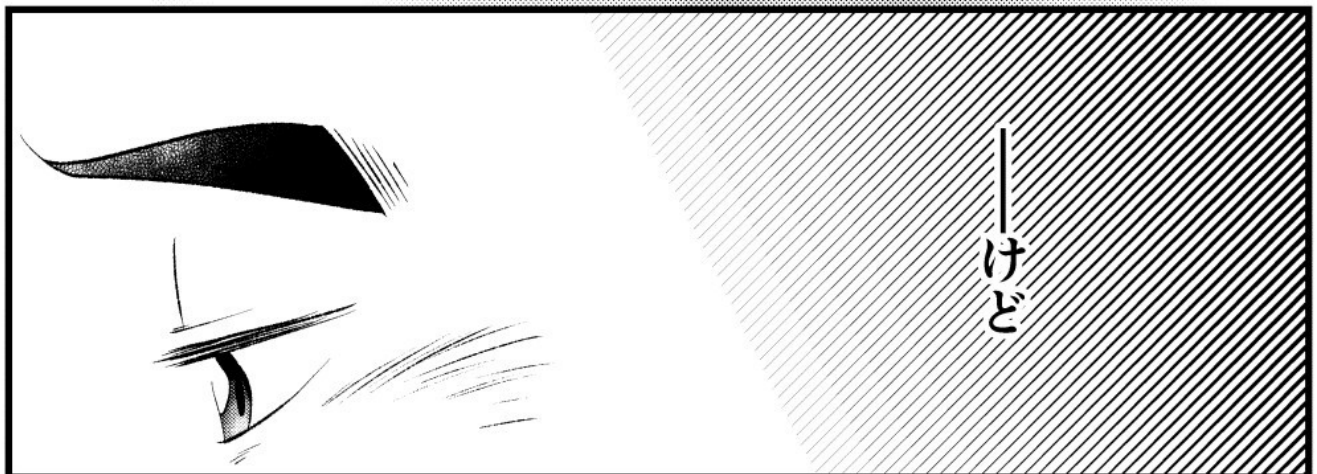


ごめん…
てっちゃん…



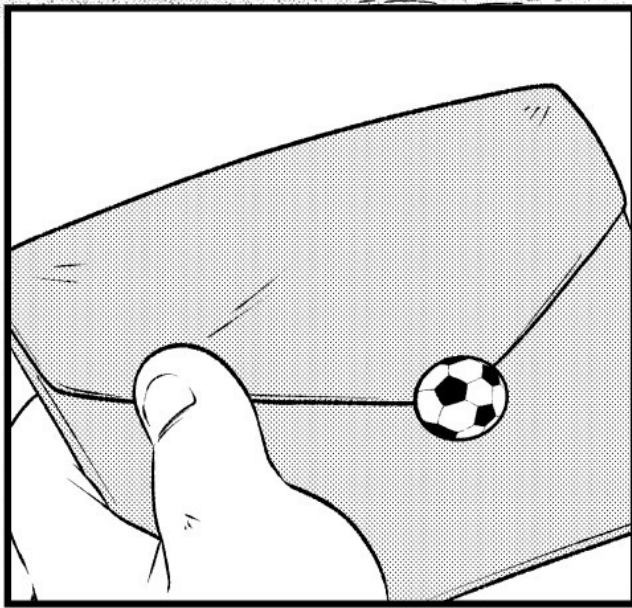
翌朝
何もなかったんじゃないかと
思うくらい普通の朝だった

あれはまるで
夢の中の出来事
だったみたいで



けど

合宿の後
クラブの練習に
雄くんは
来なくなった…



手紙を監督に
預けて



雄くんは

遠くに引越したらしい…



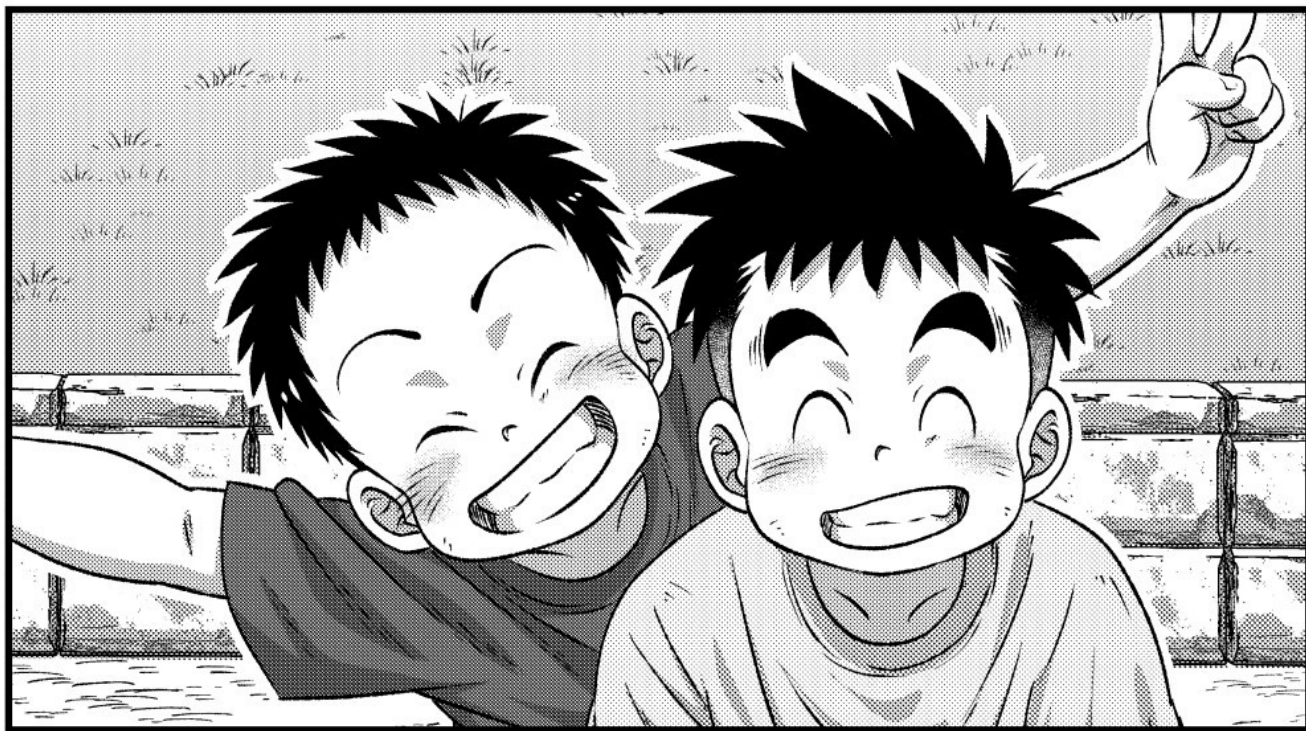
手紙には何度も
「ごめん」
と書かれていた



そして最後に
「思い出をありがとう」
と書かれていた



てっちゃんのまもちは
!!危険がいっぱい☆
2



ご支援ありがとうございます！！

こんにちは、空川です。
てっちゃん漫画の2作目ということで大変お待たせ致しました。
今回は中々モチベが上がらず…下書きまでは順調だったのですが、
ペン入れ、仕上げ(影トーン)で思った以上に時間がかかりました…。



…で、如何でしたでしょうか。
てっちゃんメインを期待されていた方には「ごめんね」という感じではありますが、
それでも良かったと言ってもらえるような作品を作ろうと頑張りました。

プロットははじめ、サッカークラブのOBの子を出して…と考えたのですが、
話がうまくまとまらず、またその時のテンションや気分的に何か違うなあと思って、
新しい子…雄くんを登場させる形となりました。
下書き段階でも雄くんの顔は中々決まりきっていなかったのですが、まあでも
最終的には可愛げのある、このままこれで終わってしまうのは勿体ないなと思う子
にはなったかなと思います。
ストーリー上、雄くん主軸のお話になってしまいましたが、これはこれで個人的には
良かったかなと思います。
雄くんが本当に何を思っていたかはあえてちゃんと描写はしていませんが、
伝わってくれると嬉しいなあ。
いつ、どういう形でかは分かりませんが、また雄くん描けたらいいなと思っています。

あ。もし、お時間と気力がありましたらコメント、ツイッター、ほめて箱あたりに
感想等頂けましたら嬉しいです。

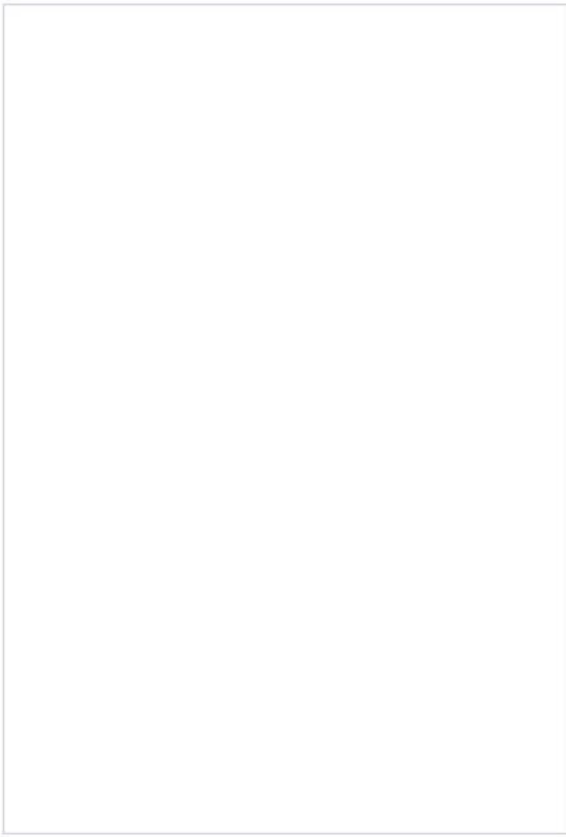
次のてっちゃん漫画をいつ描くかは未定ですが、気長にお待ち頂ければと思います。
今回はこの辺で、それでは。

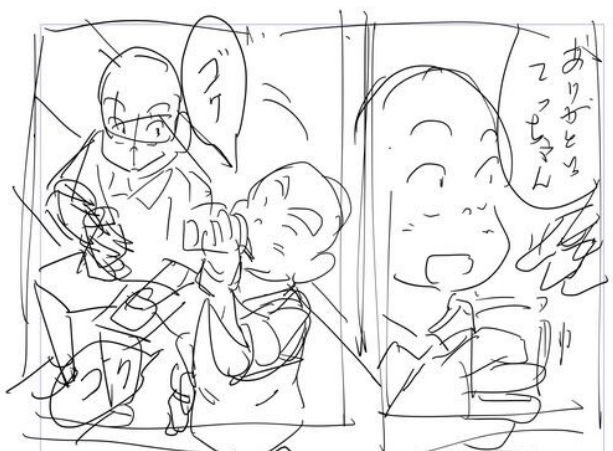
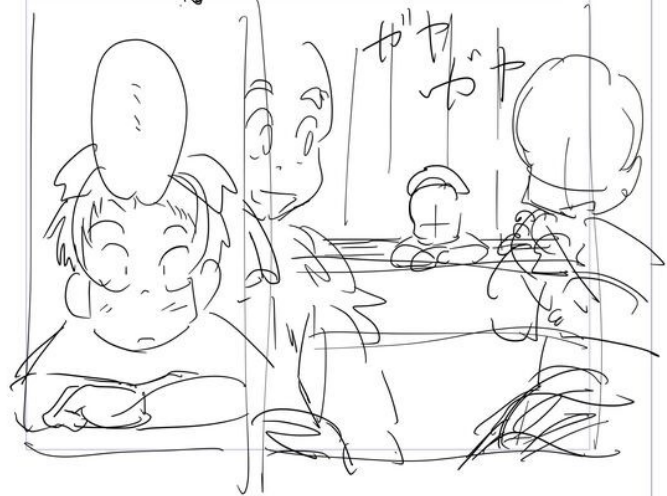
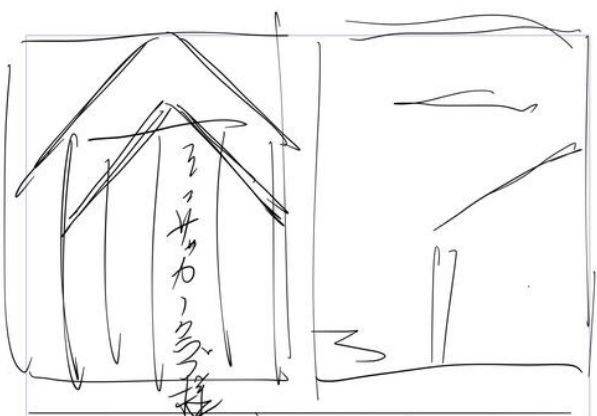
てっちゃん
の
まわり
は
危
険
が
い
っ
ぱ
い
2

てっちゃんのまわりは危険がいっぱい2

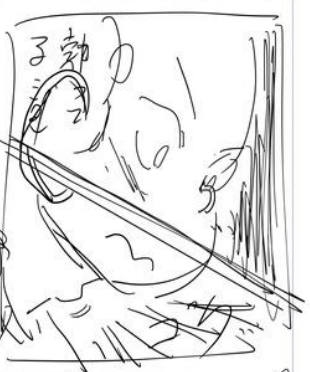
2020年4月末公開(FANBOX) 作：ドリル塊 / 空川 翔

3

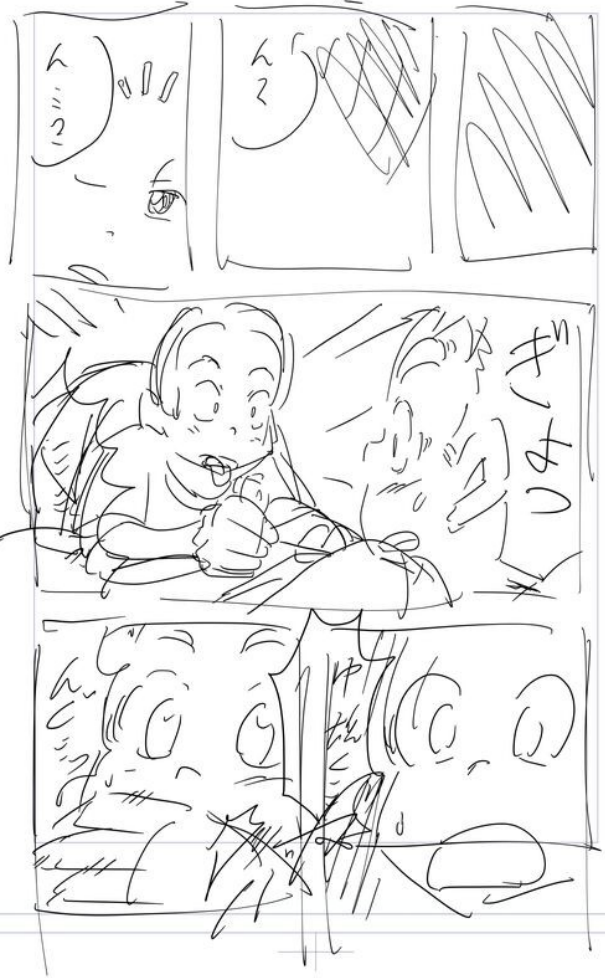








クニ
クニ



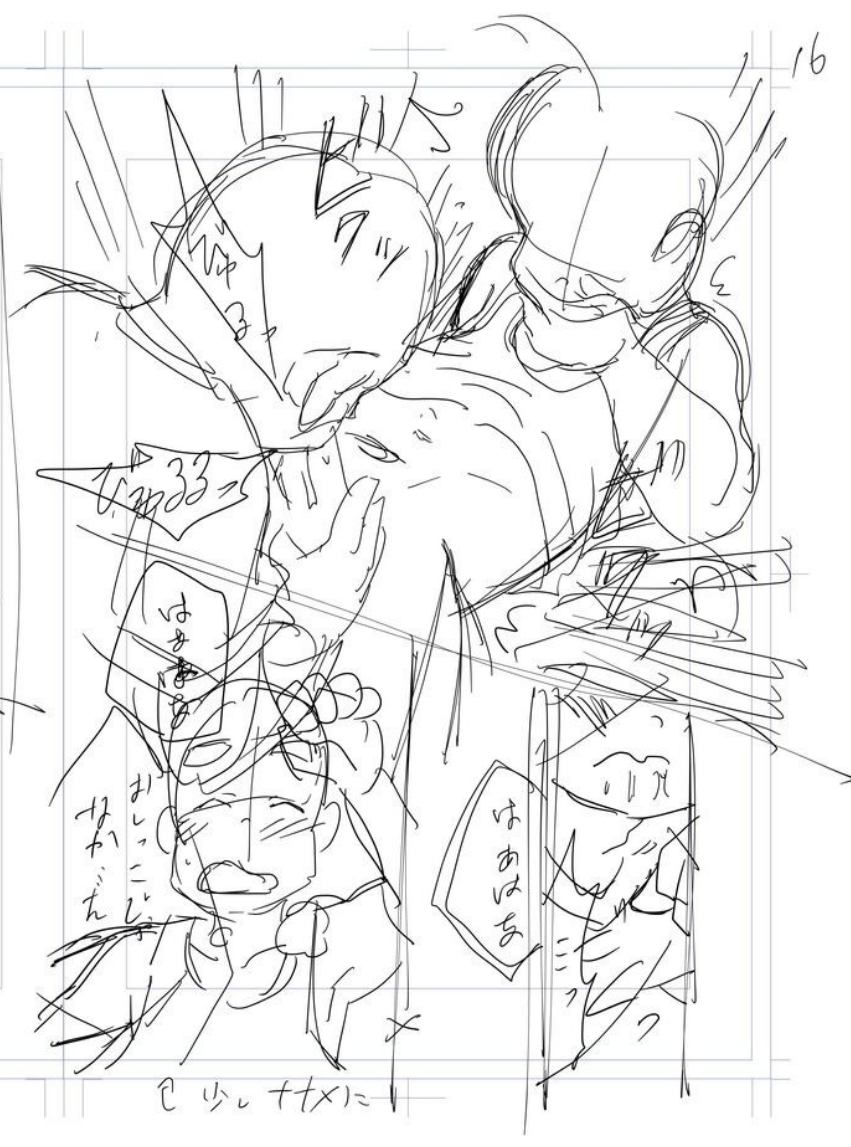
※ 運の角度とこの切り

クニ

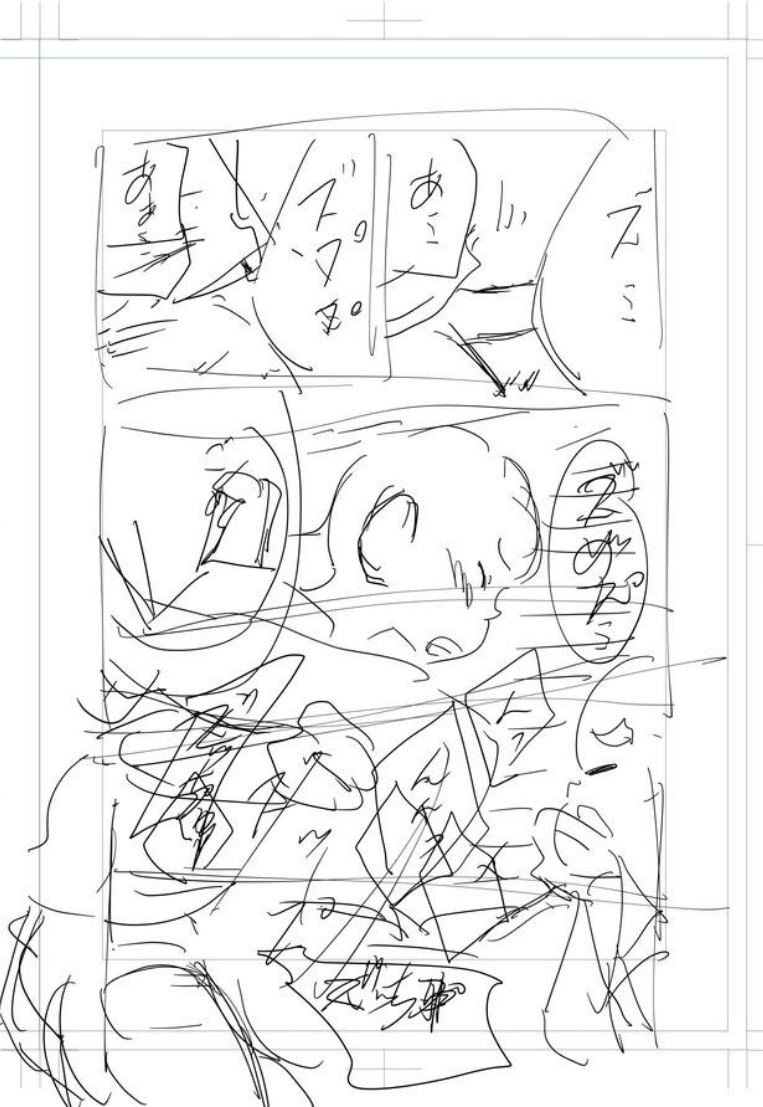
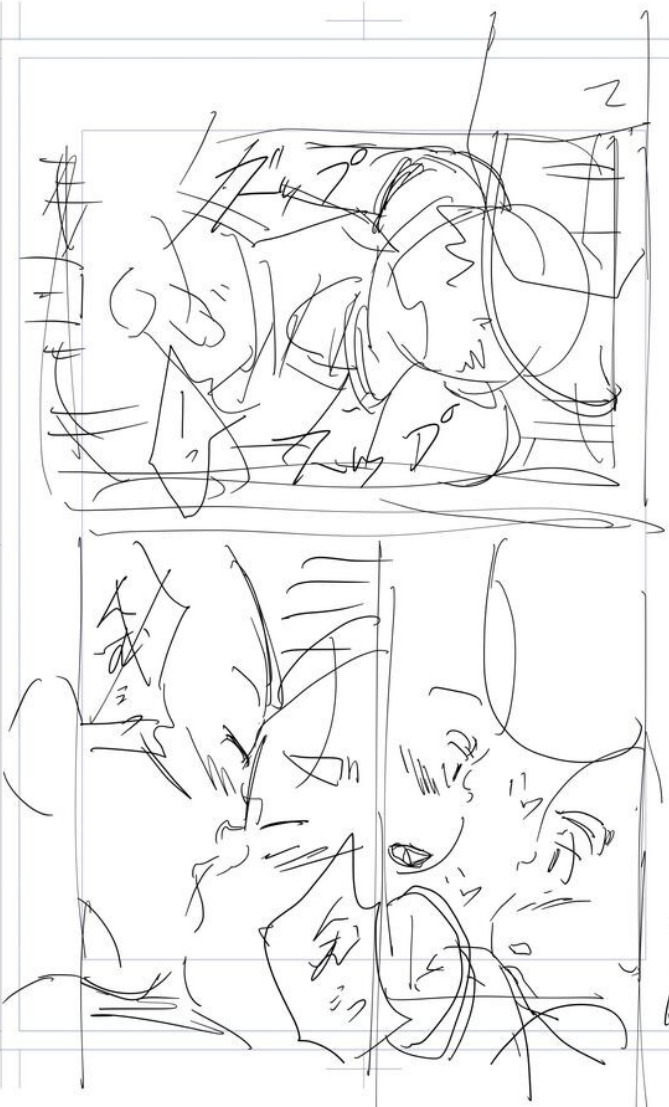
17

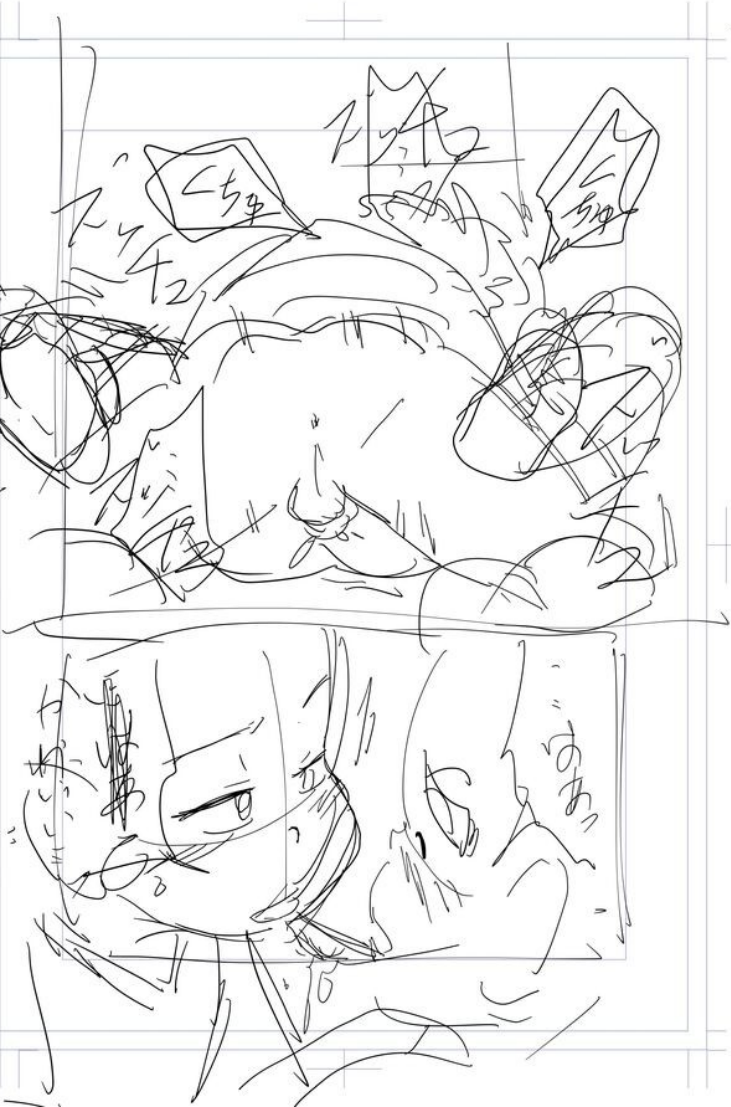
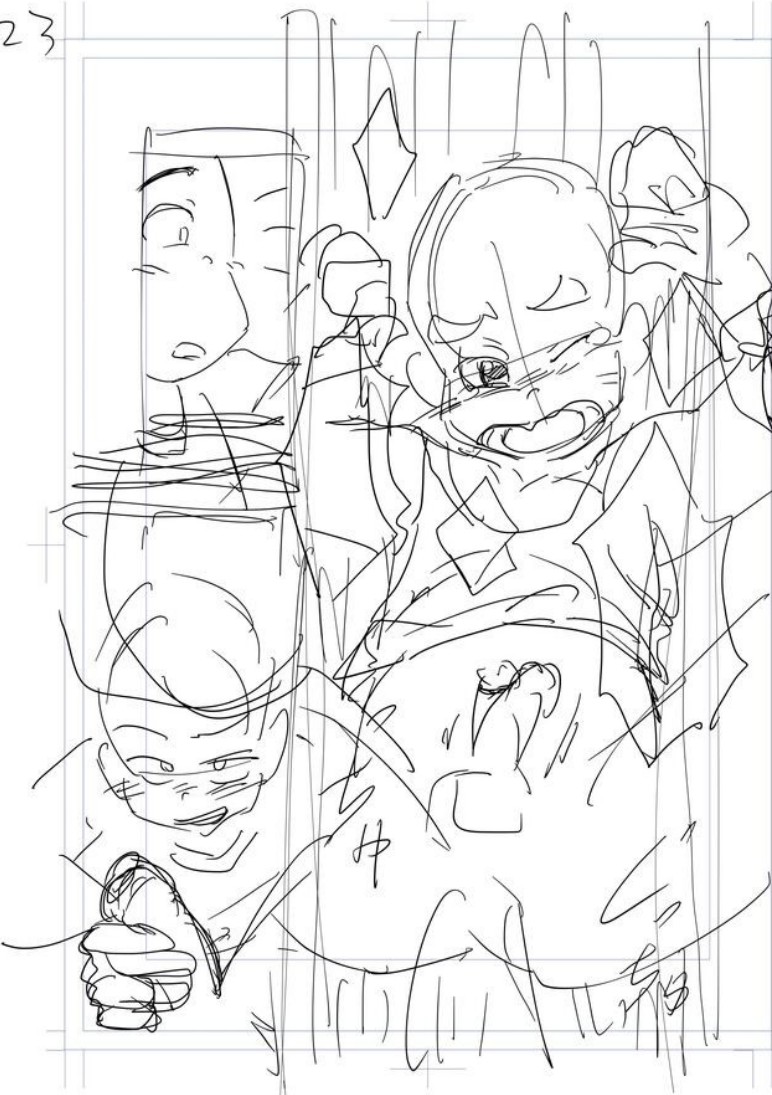


16











左右反転

一歩に三
もあ

24



↑
箱
↓

26



